

令和4年度事業所職員向け児童発達支援自己評価表

「児童発達支援ガイド」に基づいて自己評価を実施し、さくらんぼ園の工夫点と今後の改善事項について整理しました。ご意見、ご相談がございましたら職員までお声掛けください。

		チェック項目	はい	いいえ	どちらか・不明	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	88%	12%	0%	利用定員に合うように工夫して職員を配置している。
	②	職員の配置数は適切であるか	22%	66%	12%	人員配置基準を満たしている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	ボードにスケジュールを提示することで、見て理解しスムーズに活動の流れに入れるようにしている。 生活空間を基本的な構造化を意識して整えている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	88%	12%	0%	消毒作業を毎日複数回行っている。空気清浄機を設置し、換気も十分に行っている。 施設内を児童が過ごしやすいシンプルな環境で活動しやすくしている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	55%	33%	12%	振り返りと共に翌日の準備もスムーズにしている。設定した目標について、観点を決めたPDCA サイクルの実施を今後検討していく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	66%	12%	22%	保護者アンケートを始め、送迎時の会話等より思いや意見、評価につながること等について共有し、得た情報に基づいた業務改善について話し合うようにしている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	88%	0%	12%	毎月2月あるいは3月に、実施した評価をもとに集約したものをホームページにて公開している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	12%	66%	22%	今後、必要に応じた実施について検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	76%	12%	12%	公認心理師による指導を受けている。休日だが自主的に参加できる研修の案内もしている。 新型コロナ対応の状況を見ながら、他の児童発達支援(療育)施設の視察ができるとよい。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	55%	33%	12%	日々の指導や観察において把握したことを療育業務支援システムで集約しアセスメントとして反映している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	55%	33%	12%	新版 K 式検査の結果を元に、N C プログラムや他の検査、チェックリスト等を合わせることでより客観的なものにしていく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	66%	22%	12%	児童発達支援ガイドラインの読み合わせをすることでより充実させる。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	66%	0%	33%	行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	88%	0%	12%	グループに関わる職員同士で、リーダーを中心にチームで活動内容

						を決めている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	76%	22%	0%	児童の特性により工夫はしているが、外部研修等の受講によりさらに改善していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	88%	0%	12%	作成している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	88%	0%	12%	綿密に相談して確認している。遊びの内容やグッズの確認なども丁寧に行っている。 課題としては、グループ数が多く事前の打合せや準備には十分な時間が必要である。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	88%	0%	12%	遊びの振り返りを丁寧に行っている。難しかったことやできなかったことだけでなく、よかったことも職員間で共有している。時間の有効活用を意識しさらに充実させたい。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	88%	0%	12%	療育業務支援システムに入力することで記録をとり、職員間で共有している。今後も検証・改善をするための時間を設定し話し合う時間を確保していく。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	55%	22%	12%	個別支援計画書を作成し、6か月ごとの評価を行っている。様式や項目等についてさらに充実したものとなるよう見直していく。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12%	44%	44%	専任の主任が参画している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	44%	33%	22%	巡回や各校・園・所、機関等との連携を密にするよう努めている。連携内容を必要に応じて職員間で共有するように努めている。今後も日頃から連携をとりやすい関係の構築に努めていく。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0%	0%	0%	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等は在籍していない。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	44%	0%	44%	現在対象となる児童はいないが、在園児について医療機関と連携し、ケースカンファレンスの場を設けて情報を収集すると共に助言等を受けている。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	55%	22%	22%	コロナ禍であり、園・所など並行通園先との連携が希薄になりつつあると感じる。保護者了解を得た上で、発達支援ファイルをさらに活用することで連携を密にしていきたい。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	66%	22%	12%	個別支援計画を活用した移行支援を毎年行っている。今後も福祉施設として子どもたちが困らないよう意味のある移行支援ができるようにしていきたい。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12%	55%	33%	コロナ感染拡大予防で、他事業所との連携はない状況である。状況を見ながら連携を再開していく。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	0%	0%	今後、必要に応じて検討していく。
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0%	0%	0%	今後、必要に応じて検討していく。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	76%	12%	12%	療育や活動の様子を、終了後丁寧に伝えようと心がけている。必要に応じて支援方法や課題も伝えている。保護者によっては家庭で実践できたケースもある。

	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	12%	55%	33%	今年度は、モニターや大型テレビ(タブレット端末の活用)による参観、塗り絵セラピーを開催できた。感染予防対策を講じながら、保護者向け学習会の機会を増やしていけるとよい。
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	66%	0%	33%	利用者負担等についてはホームページで紹介している。担当者が面接時や契約時にも説明している。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	66%	12%	22%	計画作成時と評価の際には文書を確認していただき、サインと押印により同意を得ている。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	66%	12%	22%	適切な助言・支援に努めている。送迎時にもできるだけ家庭の様子等もお伺いしている。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	66%	33%	定期的にはできていないが、今年度は、保護者向けの療育参観ができた。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	55%	12%	33%	環境はそれぞれ違い、生活のスタイルも様々なのでその家族、その保護者に合った対応で助言等を行っている。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	55%	22%	22%	たよりやホームページでも療育の様子を公開している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	88%	0%	12%	厳重に取り扱うようにしている。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	76%	0%	22%	タブレット端末を利用し、保護者様に丁寧に療育中の様子を写真や動画、リアルタイム映像等で伝えている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	0%	0%	選挙における投票所となっており、今年度は4回園舎を貸し出した。事業所の行事としては、コロナ禍であり、実施を控えている。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	44%	44%	12%	各マニュアルを作成し、訓練を実施している。また、さすまたや非常通報装置を設置している。保護者に周知するためにマニュアル等についてホームページで公開していく。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	88%	0%	12%	職員だけではあるが、子どもたちがいることを想定した初期消火訓練や避難訓練等を行っている。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	76%	0%	22%	児童調査票に記載してある内容を確認するとともに保護者にも聞き取りを実施して把握している。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0%	0%	0%	アレルギーの有無は把握している。食べ物の提供は行っていない。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	44%	22%	33%	様式を新たにし、安全安心の療育を提供できるよう今後事例を蓄積し共有していく。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	66%	22%	12%	会議時間を活用して虐待防止の研修を実施した。また、虐待及び身体拘束について法人全体で指針を策定した。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	0%	0%	0%	身体拘束の場面や事例はない。しかし、日々の療育において身体拘束となるような対応がないか検証しながら進めている。